公衆感電事故関係資料

（事　故　例　集）

2026年5月

九州電力送配電株式会社

目　次

1　最近発生した公衆感電事故概要（2010年～2026年5月）── 1

（1）事故件数（年度別、月別）

（2）電線接触による主な事故内容

（3）各支社別事故件数

2　公衆感電事故例（事故内容別）── 2

（1）クレーン操作中の事故 ── 2

（2）ユニック操作中の事故 ── 4

（3）建設作業中の事故 ── 6

（4）切れた電線の事故 ── 11

（5）柱上での通信線工事中の事故 ── 13

3　資料編 ── 14

● 作業時のチェックポイント ── 14

● 災害時のチェックポイント ── 15

● 知っておきたい［電気の知識］ ── 16

● 熱中症に注意しましょう ── 17

● 各種二次元コード ── 21

注意と防護で防ごう作業者感電事故

●送電線の近くで作業を行う場合は、必ず事前に当社の保守委託先である九電ハイテック各支社・事業所・工務所へご連絡ください。

●配電線の近くで作業される場合は、感電防止のための措置が労働安全衛生規則（第349条）により義務付けられています。建設用防護管申込みは、九電送配サービスのホームページの防護管受付サイトから申込み手続きをお願いします。
※申込みから取付けまで、3週間程度かかりますので早めのご連絡をお願いします。
取付けが完了するまで電線に近接した作業はしないでください。

●ご不明な点がございましたら、最寄りの九州電力送配電、九電送配サービス又は九電ハイテック各支社・事業所・工務所へご相談ください。

1　最近発生した公衆感電事故概要（2010年～2026年5月）

（1）事故件数（年度別、月別）

年度／月	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	計
4	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
7	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	－	4
8	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	－	3
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
10	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	－	6
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	－	1
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0
計	4	1	0	0	1	3	1	3	1	1	0	0	0	1	0	1	1	18

※死亡または入院件数

（2）電線接触による主な事故内容

○ クレーン操作中に、ブームやワイヤー等が接近・接触
○ ユニック等の操作中の接触
○ 建設作業中に身体、鉄筋、パイプ等が接触
○ 台風や伐倒木により切れて垂れ下がった電線に接触
○ 通信線工事で柱上作業中に電線に接触

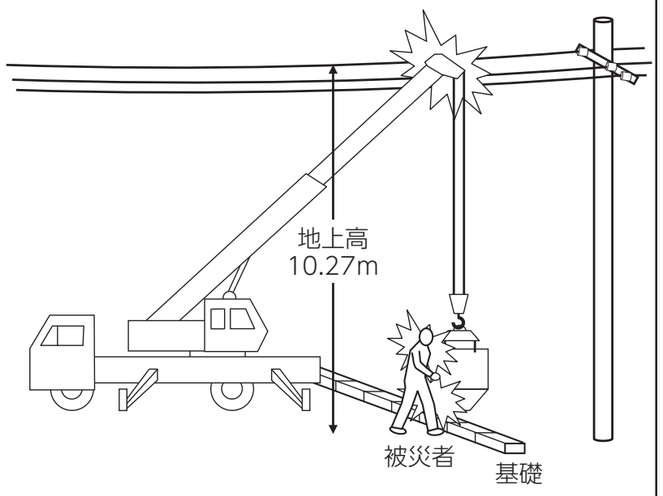
（3）各支社別事故件数

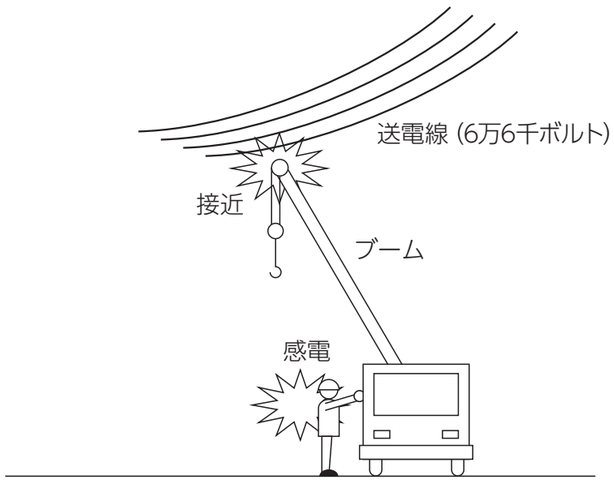
年度／支社	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	計
北九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
福　岡	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
佐　賀	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
長　崎	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大　分	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
熊　本	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
宮　崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4
計	4	1	0	0	1	3	1	3	1	1	0	0	0	1	0	1	1	18

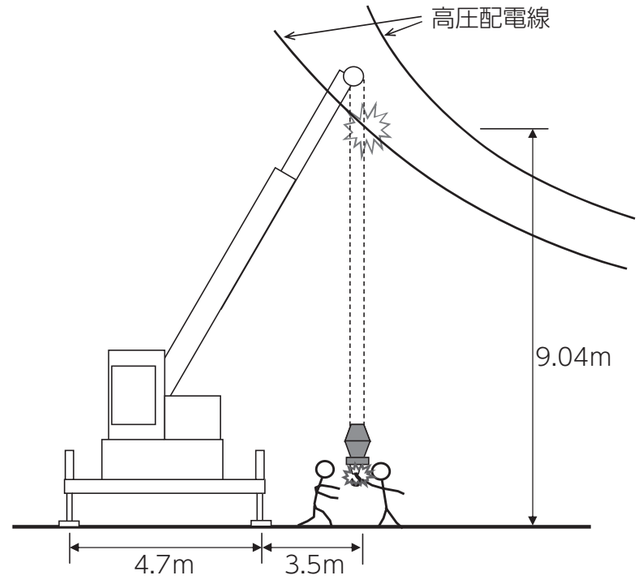
※2026年については5月末日までの参考値

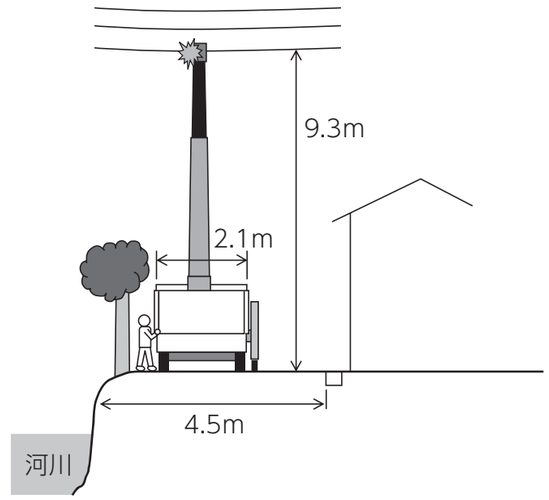
2　公衆感電事故例（事故内容別）

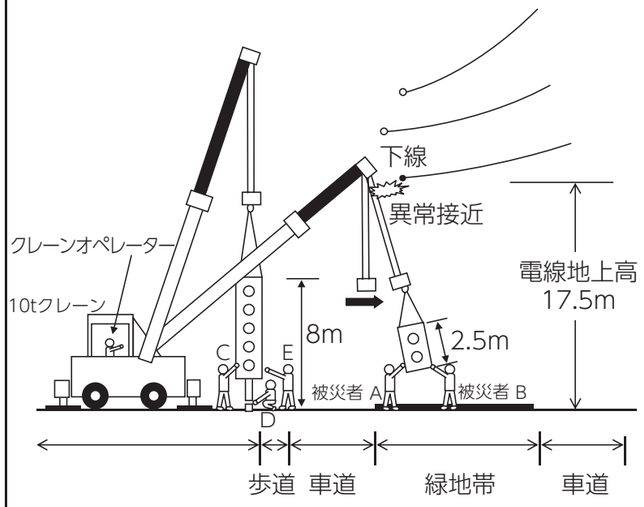
■クレーン操作中の事故

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2017年10月 発生場所：熊本県上益城郡 被　害　者：70代男性 内　　容： クレーンを使用して高圧線直下の新築建屋基礎部へコンクリートを流し込む作業において、地上作業者がクレーンワイヤーに吊られた生コン運搬機材を押した際、ワイヤーが高圧線に接触し、感電負傷した。	

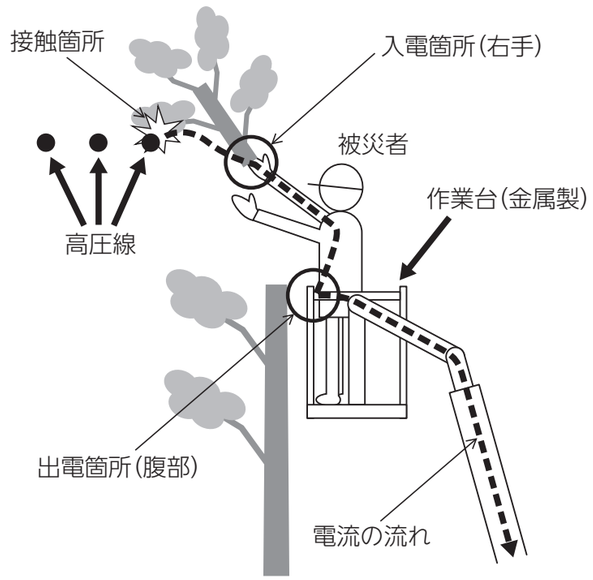
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2015年7月 発生場所：鹿児島県鹿児島市 被　害　者：60代男性 内　　容： 被災者は送電線付近の除草作業に従事していた。クレーン付きトラックによる除草後の刈草積み込み中に専任オペレータが現場を一時離れた際、被災者が無断でクレーン操作をし誤って送電線に接近し感電負傷した。	

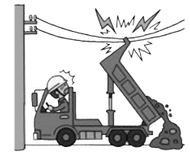
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2010年10月 発生場所：大分県大分市 被　害　者：60代男性 内　　容： 生コンクリートを入れた容器をクレーンで吊り上げて旋回したところ、クレーンのワイヤーが高圧電線に接触し、容器を持っていた被災者が感電負傷した。	

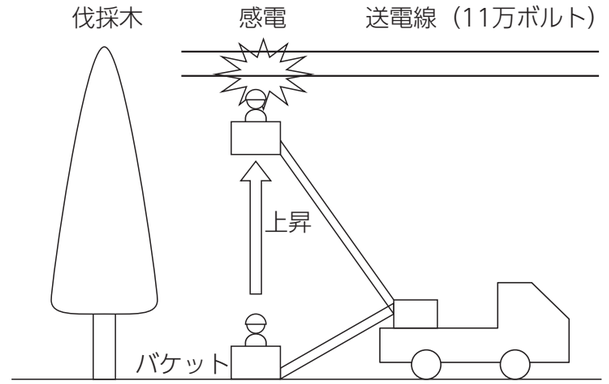
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2007年7月 発生場所：福岡県福岡市 被　害　者：60代男性 内　　容： 伐採した河川内の樹木の積込み作業中、クレーン車の旋回操作を誤り、高圧線にブーム先端部分を接触させ感電負傷した。	

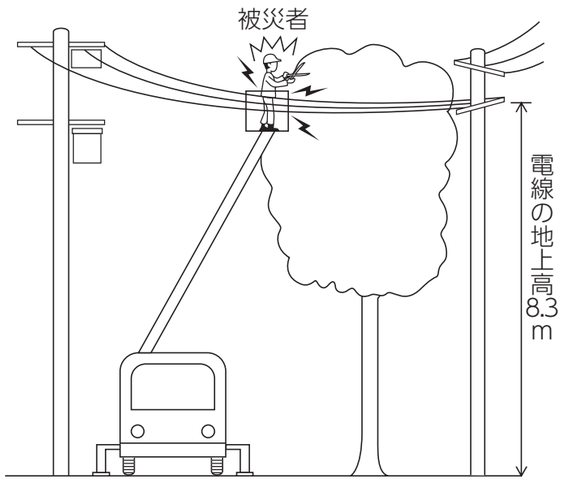
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2005年5月 発生場所：鹿児島県鹿児島市 被　害　者：40代男性、50代男性 内　　容： 送電線付近にてクレーンを使用して看板を撤去中、クレーンのブームが送電線に異常接近し、吊荷を誘導していた地上の作業員2名が感電負傷した。	

■ユニック操作中の事故

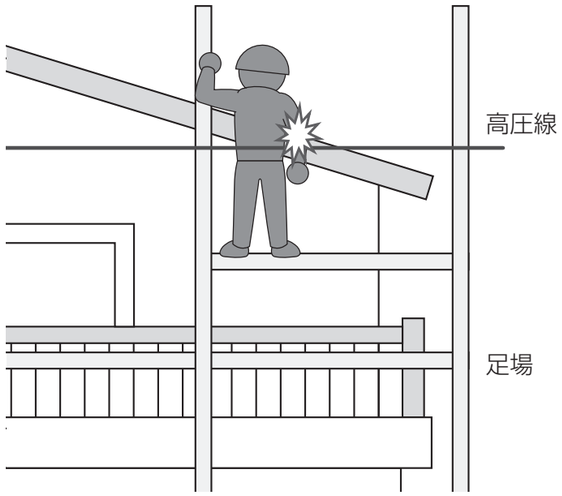
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2018年9月 発生場所：福岡県古賀市 被　害　者：30代男性 内　　容： 被災者は作業台付きユニック車で樹木剪定作業中、伐採した木の枝を誤って高圧架空引込線に倒し、手で掴んで取り外そうとした際、感電負傷した。 ※入院なし（参考として記載）	

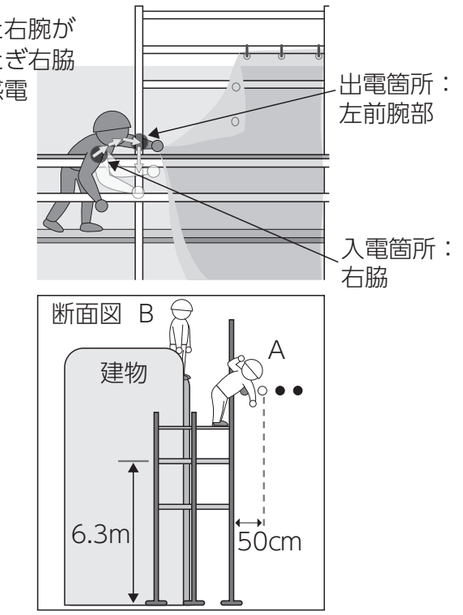


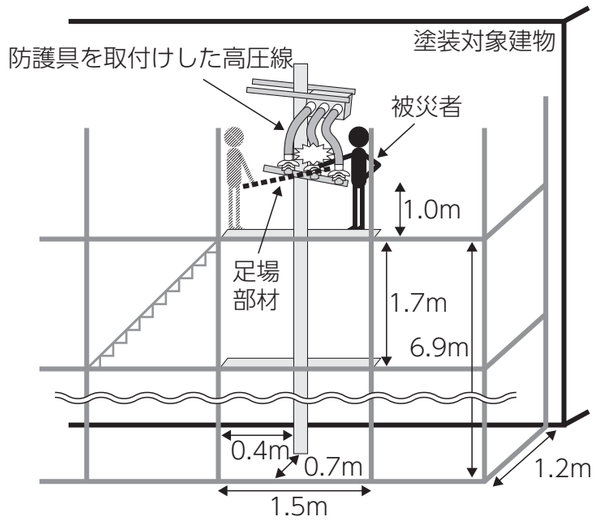
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2015年7月 発生場所：佐賀県三養基郡 被　害　者：30代男性 内　　容： 被災者は送電線付近の樹木伐採作業に従事していた。休憩中に周辺の眺望を楽しむためバケット車のバケットを上昇させ電線に接近し感電負傷した。	

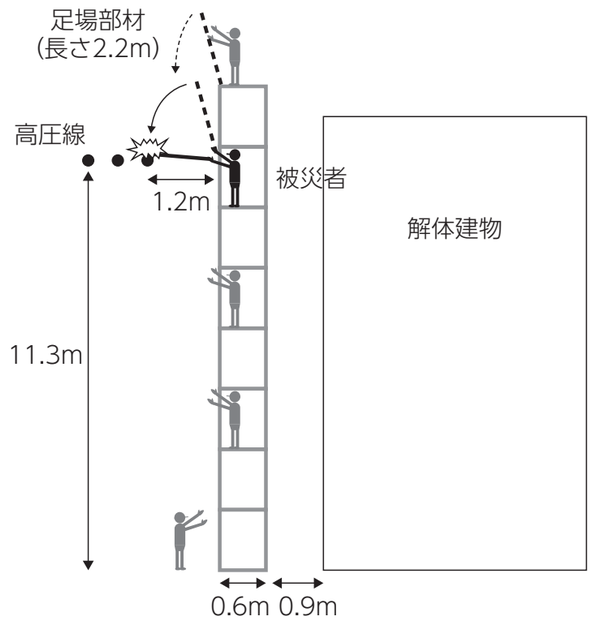
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2002年9月 発生場所：長崎県西彼杵郡 被　害　者：50代男性 内　　容： 被災者は作業台付きユニック車で樹木剪定作業に従事中、樹木付近を通過していた高圧架空引込線に接触し感電負傷した。	

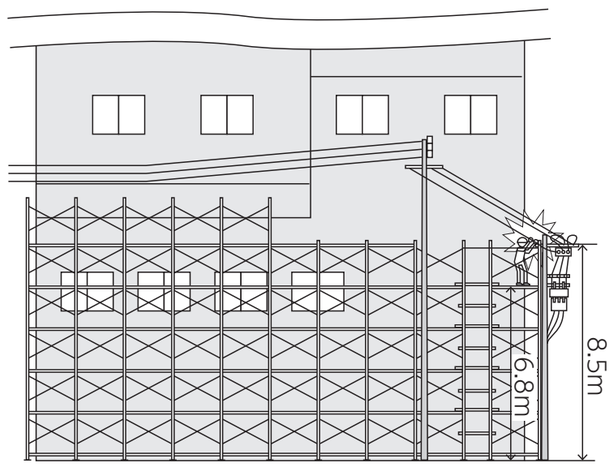
■建設作業中の事故

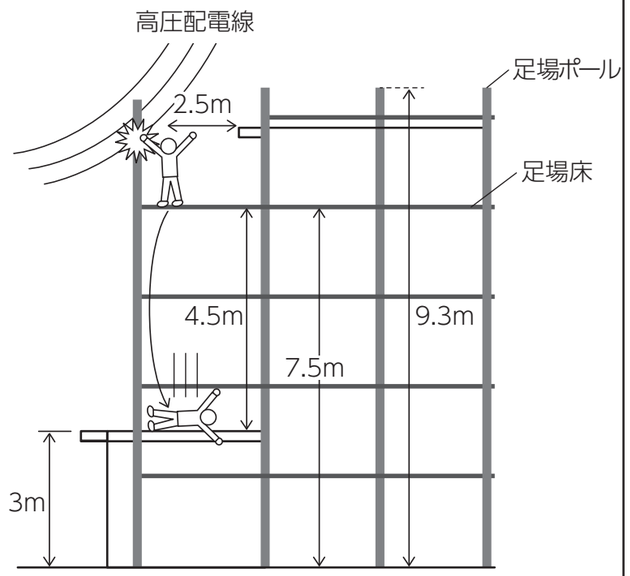
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2026年4月 発生場所：福岡県飯塚市弁分 被　害　者：30代男性 内　　容： 被災者は、家屋外壁塗装用足場の解体作業中、右前腕部が高圧線に接触し、感電負傷した。	

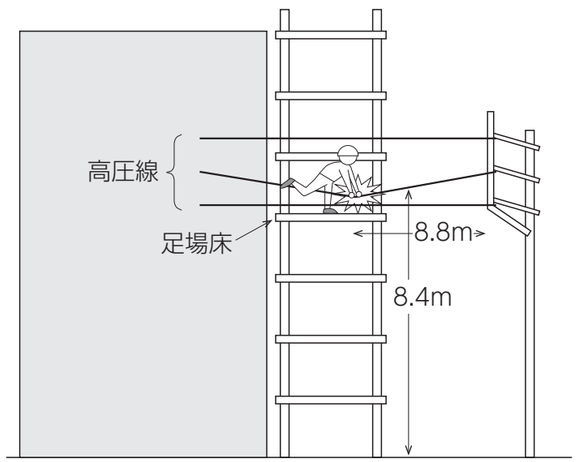
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2023年10月 発生場所：鹿児島県鹿屋市 被　害　者：50代男性 内　　容： 建物外壁の塗装作業において、ペンキ飛散防止用ネットを取付ける際、誤って右腕が高圧線をまたぎ、右脇で高圧線を挟み込み感電負傷した。	振り下ろした右腕が高圧線をまたぎ右脇で挟み込み感電 

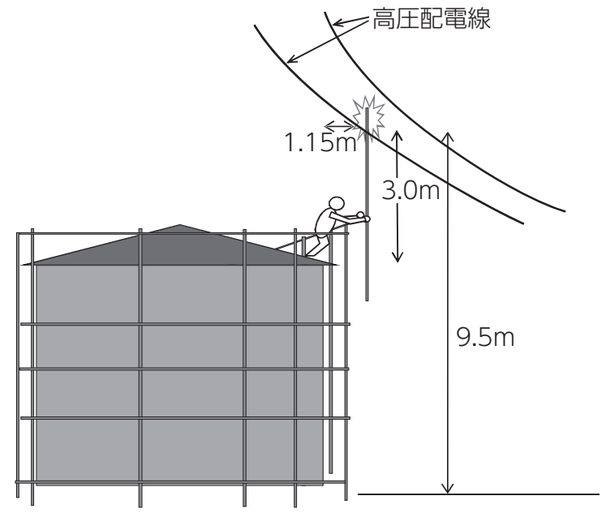
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2019年7月 発生場所：鹿児島県鹿児島市 被　害　者：20代男性 内　　容： 建物塗装用足場の組立作業において、足場部材の受け渡しの際、被災者は高圧線に取付けていた防護具に腕を当て、防護具がめくれたことで露出した充電部と接触し、感電した。	

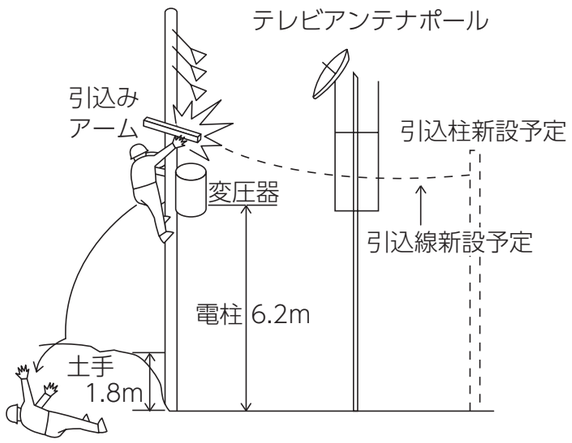
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2018年4月 発生場所：鹿児島県鹿児島市 被　害　者：20代男性 内　　容： 被災者は住宅解体工事のための足場撤去作業中、足場部材（金属パイプ）を地上に降ろすため、下段の作業者に渡そうとした際、高圧線に足場部材を接触させ感電負傷した。	

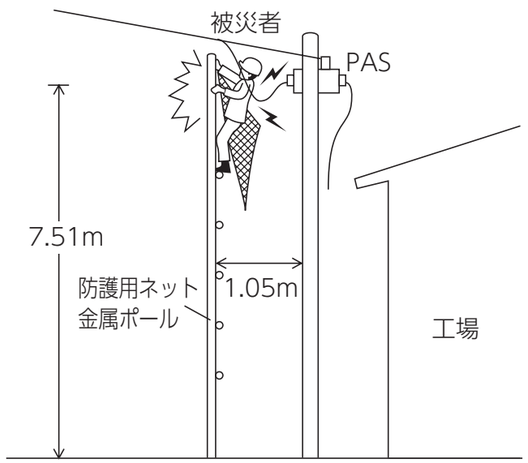
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2016年7月 発生場所：大分県別府市 被　害　者：20代男性 内　　容： 被災者は、ビルの外壁工事に伴う足場組立て作業中、高圧線に誤って接触し、感電死亡した。	

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2014年4月 発生場所：熊本県熊本市 被　害　者：30代男性 内　　容： 被災者は、アパートの塗装工事に伴う足場組立作業後、3階部分で足場シートを取付ける際に、高圧線に右手が接触し感電、直後に3階部分の足場から1階の屋根部分へ転落し負傷した。	

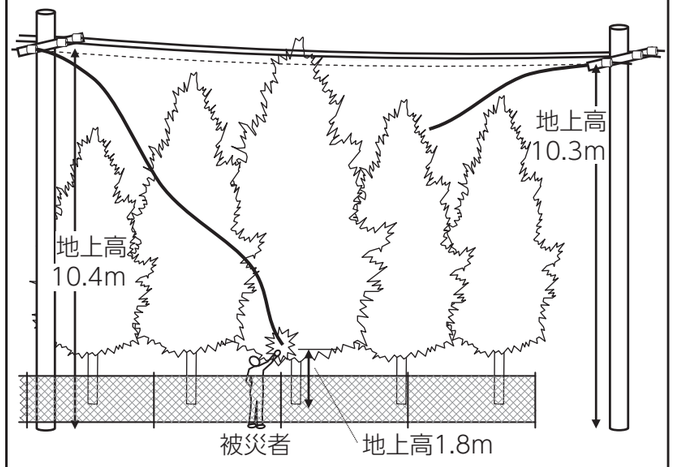
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2015年10月 発生場所：福岡県福岡市 被　害　者：30代男性 内　　容： 被災者は、団地の外壁工事に伴う足場組立て作業中、足場を貫通した高圧線を跨いだ際に、右膝下が高圧線に接触し、感電した。	

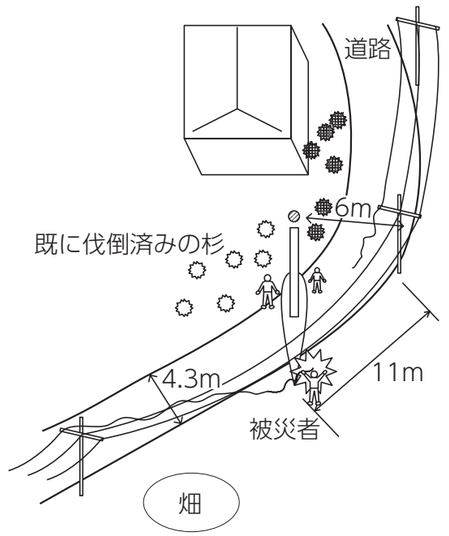
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2010年8月 発生場所：佐賀県神埼市 被　害　者：20代男性 内　　容： 家屋屋根上で解体した足場の金属管を地上作業員に手渡そうとした時、上空にある高圧線に金属管を接触させ感電負傷した。	

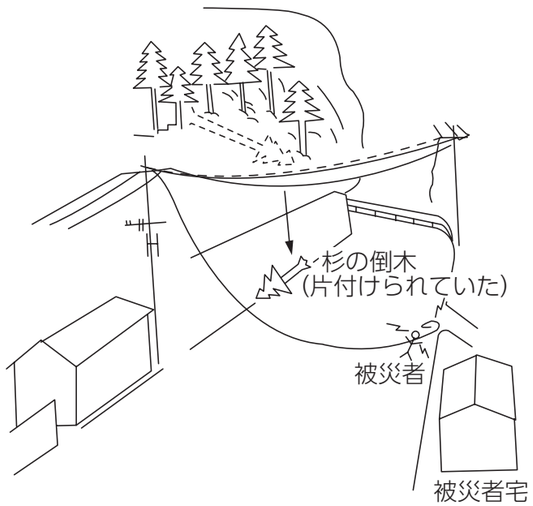
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2004年5月 発生場所：福岡県糸島市 被　害　者：60代男性 内　　容： 被災者（電気工事業者）は、引込柱の新設にあたり他物（テレビアンテナポール）との隔離が気になったため、確認するために電柱に昇り引込用アームを握ったところ、感電し墜落負傷した。（引込みアームは、変圧器低圧幹線が接触し充電していた）	

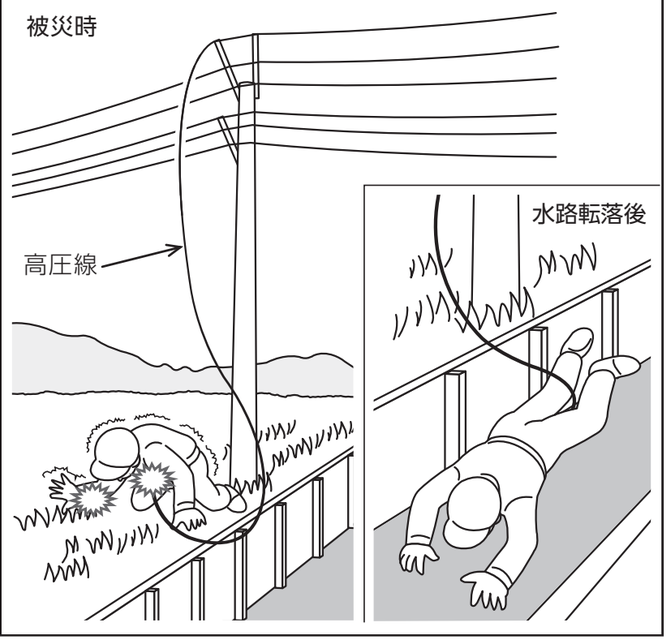
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2002年9月 発生場所：熊本県熊本市 被　害　者：20代男性 内　　容： 被災者は工場の解体作業準備として作業場防護用のネット取付作業に従事中、PAS付近の足場ポールにネットを取付ける際、左肩がPAS一次側の縁廻り部分に接触し感電負傷した。	

■切れた電線の事故

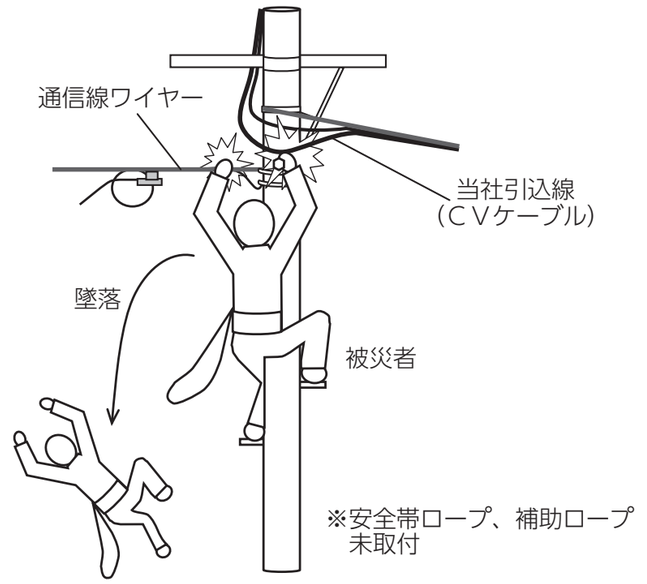
事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2017年8月 発生場所：長崎県佐世保市 被　害　者：50代男性 内　　容： 突風により樹木が高圧線を引っ掛けて断線。通報を受けて現場に出動した警察官が断線して垂れた高圧線をつかんで感電負傷した。	

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2005年1月 発生場所：宮崎県小林市 被　害　者：50代男性 内　　容： 被災者は、自宅敷地内の杉を伐採中、伐倒木が高圧線に接触し断線したため、高圧線を片付けようとして感電負傷した。	

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：1999年9月 発生場所：熊本県球磨郡 被　害　者：90代男性 内　　容： 台風通過時に杉の倒木により高圧線が断線し、被災者宅前の路上に落下した。被災者は路上に落ちた電線を片付けようとして、電線に触れ感電死亡した。	

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2025年4月 発生場所：福岡県朝倉郡筑前町 被　害　者：60代男性 内　　容： 無人ヘリコプターによる田畑への農薬散布中、操縦を誤り、高圧線に接触させ断線。応援に駆け付けた被災者は、無人ヘリコプター落下による田畑への影響を確認していたところ断線していた高圧線に気付かず接触し、感電負傷した。	

■柱上での通信線工事中の事故

事　故　内　容	事　故　概　略　図
発生年月：2017年12月 発生場所：佐賀県武雄市 被　害　者：40代男性 内　　容： 通信工事会社作業者が素手で昇柱し、左手で通信線ワイヤーを握った状態から、右手で足場ボルトを握ろうとした際に、同足場ボルト付近の低圧引込線を足場ボルトに押し付け（この際に電線被覆が損傷）感電し、柱上から墜落して負傷した。	

作業時のチェックポイント!

こんなとき感電事故が起きています。

九電送配サービス(QSS)

建設工事の現場で電線に接近して作業を行う場合、適切な予防措置や注意をしなかったために感電事故が起こることがあります。作業を行う前には養生ネットを張ったり、電線に絶縁用の防護管を取り付けるなど、裸電線、被覆電線に関係なく、適切な予防措置が必要です。作業開始の前に付近の状況をよく確認し、早めに九電送配サービス(QSS)へご相談ください。

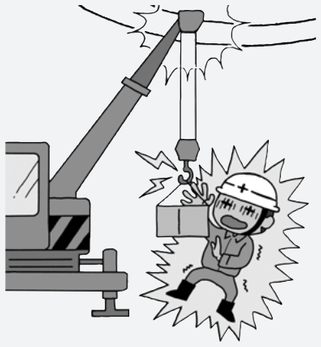
[防護管取り付けには15営業日程度かかりますので、お早めにQSSへWEBにて、お申し込みください。
またビル工事などの場合は、安全管理責任者の方が建設現場図面を持って、ご相談ください。]

組み立て作業中

建設現場の足場組み立て作業時に、鉄パイプが高圧線に接触する事故。

クレーン作業中

建設現場などでクレーンを使用する場合に、クレーンのブームやワイヤーが高圧線に接触する事故。

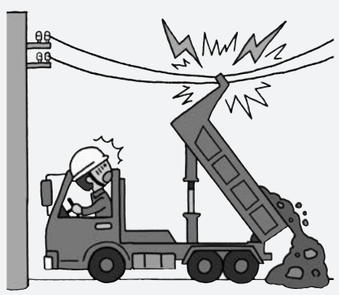


大工作業中

電気ノコや電気カンナなどの電動工具のコード損傷部に触れて起こる事故。
屋外で電動工具を使用される場合は、漏電遮断機の取り付けが必要です。

ダンプ作業中

ダンプカーで荷台の上げ下ろしの作業を行う場合に、高圧線に接触する事故。



看板塗装作業中

看板などの塗装作業を行う場合に、高圧線に接触する事故。

伐採・剪定作業中

木の枝を伐採･剪定する際に、高圧線に接触する事故。

災害時のチェックポイント!

台風や地震、集中豪雨等が発生したときの注意点

九州電力送配電

私たちは様々な家電製品に囲まれて暮らしています。いつ、どんなところで災害に襲われても被害を最小限に食い止めることができるよう、次のことに注意しましょう。

平常時、家庭の電気安全ポイント

地震のときは、電気ストーブの転倒、オーブントースターの落下などのおそれがあることから、家電製品は置き場所などに十分注意するとともに、近くに可燃物をおかないようにしましょう。

二次災害を防ぐために

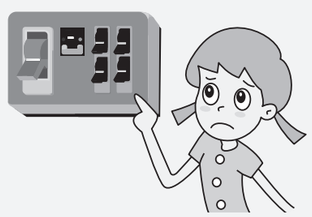
台風や地震などのときは、家電製品のスイッチを切りましょう。とくにアイロンやドライヤーなどの熱器具はすぐにプラグをコンセントから抜きましょう。

再び電気をお使いになるときは

家電製品や屋内配線の安全確認を行いましょう。傷ついたコード、破損したコンセントや落下した家電製品は漏電などの原因になります。また、水にぬれてしまったものも同様です。電器店のチェックを受けましょう。

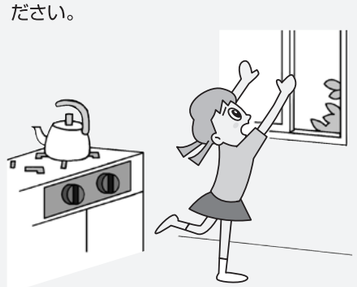
避難するときはここに注意！

台風や地震などのときも、設備に異常がなければ電気はご家庭に送られています。電気の消し忘れによる事故を防ぐためにも、避難するときにはリミッターやブレーカーなどを必ず切りましょう。



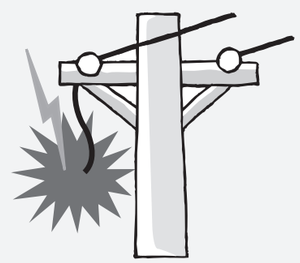
ガス漏れがあるときは

ガス漏れのあるときは、家電製品を使用しないようにしましょう。ガスの臭いがするときなどは電気の使用を避け、ガス栓をしめ、窓を開けて、ガス会社へご連絡ください。



切れた電線に注意！

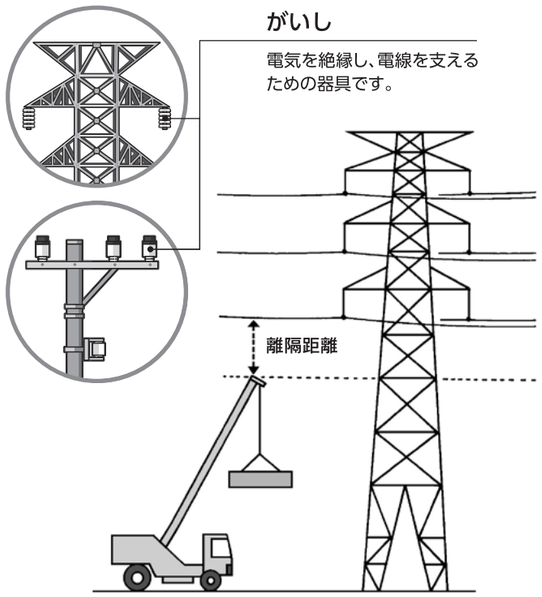
台風や地震などで切れた電線には絶対に触れないで九州電力送配電へご連絡ください。



知っておきたい、作業時の［電気の知識］

送電線に近づくと危険です！

送電線は電圧が非常に高いため（２万ボルト～50万ボルト）、**電線に直接触れなくても感電することがあります。**このため、電線との離隔距離は、電圧が高くなるほど多くとる必要があります。送電線の近くで作業を行う場合は、軽微な作業でも必ず事前に九州電力送配電へご連絡ください。



送電線から離すべき距離（離隔距離）

電　圧	がいし個数	離隔距離
22,000ボルト以下	2～4個／ヵ所	4m
66,000ボルト	4～6個／ヵ所	
110,000ボルト	7～9個／ヵ所	
220,000ボルト	14～18個／ヵ所	6m
500,000ボルト	29～52個／ヵ所	11m

知っておきたい、暮らしの中の［電気の知識］

漏電遮断器を取り付けましょう！

電気は目に見えず、匂いもないため、もし配線や家電製品の故障で漏電していると、知らずに触れて感電したり、火災の原因になります。漏電遮断器を取り付けていれば、万一漏電しても、瞬時に電気を切って、事故を未然に防いでくれます。単相３線式配線の場合、単３中性線欠相保護機能付の漏電遮断器の取り付けが義務づけられています。

取り付けが義務づけられているもの

次のいずれかに該当する場合には、漏電遮断器を取り付けることが義務づけられています。

- 水気のある場所に電気機器を設置する場合。
- 浴用に使用する電気温水器を設置する場合。
- 屋外や建物のそばにコンセントを設置する場合。
  植物栽培などのために、電気温床や電気加湿装置などを設置する場合。
- プール、噴水、池などに給排水ポンプ、循環ろ過ポンプなどの電動機設備を設置する場合。
- 対地電圧150V以上の電気機器（大型ルームエアコンなど）を設置する場合。
- 電動機のある電気機器を雨にぬれる場所に設置する場合。

取り付けが望ましいもの

次のいずれかに該当する場合には、漏電遮断器を取り付けると安心です。

- 湿気のある場所に電気機器を設置する場合。
- 洗濯機、脱水機、食器洗い機及び庭園灯などを使用する場合。
- 屋外に電気機器を設置する場合。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの壁のある建物に電路を施設する場合。

お取り付けは、電気工事店へご相談ください。

s a f e t y ● c o l u m n

熱中症に注意しましょう！

●日常生活に関する指針として用いられる「暑さ指数」

暑さ指数（WBGT）	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険（31以上）	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒（28以上31未満）		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒（25以上28未満）	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意（25未満）	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」（2022）より改編 ※

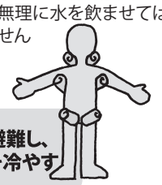
※ 日本生気象学会の承諾を得て、出典元の「WBGT」を「暑さ指数（WBGT）」とし、値を気温（単位は℃）と区別しやすいように、単位のない指数として表記しています

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。
落ち着いて、状況を確かめて対処しましょう。最初の処置が肝心です。

大量に汗をかいている場合は、塩分の入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう

救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。呼びかけへの反応が悪い場合には無理に水を飲ませてはいけません



氷のう等があれば、首、腋の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう※

本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう

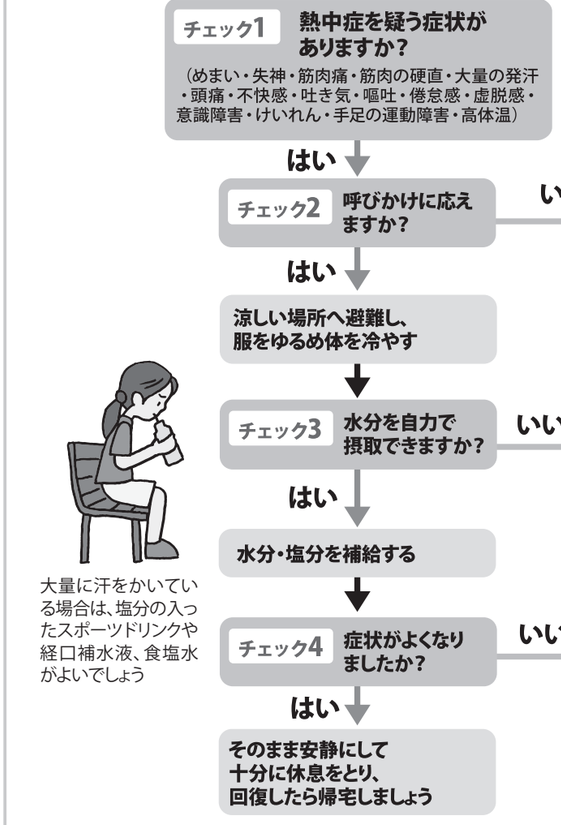


図2-7　熱中症を疑ったときには何をすべきか

※スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

MEMO

MEMO

MEMO

各種二次元コード

九州電力送配電株式会社

感電防止のためにご注意いただきたいことを紹介

事故防止のお願い

https://www.kyuden.co.jp/td_supply_accident-prevention_index.html

九電送配サービス（QSS）

建設用防護管 WEB受付

https://www.kyuden-ss.co.jp/bougokan_uketsuke/

一般財団法人　九州電気保安協会

公益目的事業

https://www.kyushu-qdh.jp/public_interest/

経済産業省

電力の安全

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/index.html

厚生労働省

職場の安全を応援する情報発信サイト

職場のあんぜんサイト

ttps://anzeninfo.mhlw.go.jp/

環境省

熱中症予防情報サイト

熱中症警戒アラート

https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php

国土交通省

防災ポータル

いのちとくらしをまもる防災減災

https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/index.html

気象庁

キキクル（危険度分布）

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

総務省消防庁

地震火災

～あなたの命を守るために出来る事～

https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku_bouka/post-2.html

応急手当 WEB講習

https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/

日本全国AEDマップ事務局

日本全国AEDマップ

https://aedm.jp/?gad_source=1&gclid=EAIaIQobChMI_ru-sYr7hgMV3dU-WBR35SAqREAAYASAAEgLA7fD_BwE

停電情報に関するサービス

九州停電情報提供アプリ

「九州エリアの停電・復旧見込み情報」をスマホでいち早くお知らせします

もしもの停電、備えて安心。

◉登録エリアの停電情報などをプッシュ通知でお知らせ
◉最新の停電・復旧見込み情報をマップなどで確認
◉詳細な停電・復旧見込み情報をテキストで確認

アプリでも下記の「チャット受付」・「停電情報自動応答サービス」をご利用いただけます

○対象地域：九州電力送配電株式会社が電気をお届けしている地域です。
○利用料金：無料。（ご利用時に発生する通信料はご利用者の負担です。）

まずは無料アプリをダウンロード
お手持ちのスマホで、2次元コードからアクセス

アプリの詳細はホームページをご覧ください

チャット受付

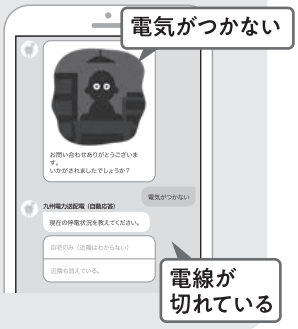
停電時に「チャット」でお問い合わせいただけます。
電柱・電線などの設備に関するトラブルもお問い合わせいただけます。

＼ 便利・簡単・安心！ ／

◉お電話がつながりにくい状況でも、速やかにつながる！
◉対話形式でスムーズにやり取りができる！
◉写真で正確に状況を伝えることができる！

チャット受付：24時間（365日対応）

チャットで停電・送配電設備のお問い合わせはコチラ▶



停電情報自動応答サービス

専用ダイヤルに電話していただくと停電情報や復旧見込みを自動音声でお答えします。

24時間（365日対応）

[お客さま] → [九電送配] → [お客さま] → [九電送配] →

①ダイヤル発信 → ②自動音声で応答メッセージが流れる → ③確認したい住所を言う → ④自動音声で現状・復旧の見込みが流れる

停電情報自動応答専用ダイヤル

0120-426-305（福岡県・佐賀県・長崎県）

0120-426-306（大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県）

※その他お問い合わせがございましたら、九州電力送配電の配電事業所へご連絡ください。